

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 12 月 23 日 (2021.12.23)

【公表番号】特表 2021-505018 (P2021-505018A)
 【公表日】令和 3 年 2 月 15 日 (2021.2.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-007
 【出願番号】特願 2020-528261 (P2020-528261)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 L 27/26 (2006.01)

【F I】

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 72/04 1 3 2

H 0 4 W 72/04 1 3 1

H 0 4 L 27/26 1 1 3

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 12 日 (2021.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレス通信の方法であって、

超高信頼低レイテンシ通信 (URLLC) 送信によってパンクチャリングがなされた 1 つまたは複数のリソースを特定する指示チャネルを、ユーザ機器 (UE) において受信するステップであって、前記 1 つまたは複数のリソースが、時間領域を分割した 1 つまたは複数のシンボル期間および周波数領域を分割した 1 つまたは複数のサブバンドによって定義され、サブバンドの総数が 2 つである、ステップと、

前記 UE のアクティブ帯域幅部分 (BWP) 内のリソースブロックグループ (RBG) の数を決定するステップと、

あらかじめ定義されたルールに基づいて、前記アクティブ BWP 内の前記数の RBG を、前記総数が 2 つのサブバンドの各々の間でマッピングするステップであって、前記あらかじめ定義されたルールが、前記周波数領域内の前記 2 つのサブバンドからの下位のサブバンドへの境界 RBG のマッピングを定義し、前記境界 RBG が、前記アクティブ BWP の中心に位置する RBG であり、前記境界 RBG が 2 つの RBG に隣接し、前記隣接する 2 つの RBG の各々が前記 2 つのサブバンドのうちの異なる 1 つにマッピングされる、ステップと、
 を含む、方法。

【請求項 2】

前記指示チャネルによって特定される前記 1 つまたは複数のリソースに基づいて、前記 URLLC 送信によってパンクチャリングがなされた、前記 UE に割り当てられたパンクチャリング実施リソースブロックのセットを決定するステップと、

前記パンクチャリングに基づいて、少なくとも前記パンクチャリング実施リソースブロックのセットを処理するステップと、をさらに含む、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記処理するステップが、前記パンクチャリング実施リソースブロックのセットに対応

する対数尤度比(LLR)をゼロにするステップを含む、
請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記処理するステップが、前記バンクチャリング実施リソースブロックのセットの処理を停止するステップを含む、
請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記指示チャンネルのフォーマットを示す構成情報を受信するステップをさらに含む、
請求項1に記載の方法。

【請求項6】

ワイヤレス通信のためのユーザ機器(UE)であって、
トランシーバと、
メモリと、
前記トランシーバおよび前記メモリに通信可能に結合されたプロセッサと、を備え、前記プロセッサおよび前記メモリが、
超高信頼低レイテンシ通信(URLLC)送信によってバンクチャリングがなされた1つまたは複数のリソースを特定する指示チャンネルを受信することであって、前記1つまたは複数のリソースが、時間領域を分割した1つまたは複数のシンボル期間および周波数領域を分割した1つまたは複数のサブバンドによって定義され、サブバンドの総数が2つである、ことと、

前記UEのアクティブ帯域幅部分(BWP)内のリソースブロックグループ(RBG)の数を決定することと、

あらかじめ定義されたルールに基づいて、前記アクティブBWP内の前記数のRBGを、前記総数が2つのサブバンドの各々の間でマッピングすることであって、前記あらかじめ定義されたルールが、前記周波数領域内の前記2つのサブバンドからの下位のサブバンドへの境界RBGのマッピングを定義し、前記境界RBGが、前記アクティブBWPの中心に位置するRBGであり、前記境界RBGが2つのRBGに隣接し、前記隣接する2つのRBGの各々が前記2つのサブバンドのうちの異なる1つにマッピングされる、ことと、
を行うように構成される、UE。

【請求項7】

前記プロセッサが、
前記指示チャンネルによって特定される前記1つまたは複数のリソースに基づいて、前記URLLC送信によってバンクチャリングがなされた、前記UEに割り当てられたバンクチャリング実施リソースブロックのセットを決定することと、
前記バンクチャリングに基づいて、少なくとも前記バンクチャリング実施リソースブロックのセットを処理することと、
を行うように構成される、
請求項6に記載のUE。

【請求項8】

前記プロセッサが、前記バンクチャリング実施リソースブロックのセットに対応する対数尤度比(LLR)をゼロにするように構成される、
請求項7に記載のUE。

【請求項9】

前記プロセッサが、前記バンクチャリング実施リソースブロックのセットの処理を停止するように構成される、
請求項7に記載のUE。

【請求項10】

前記プロセッサが、前記指示チャンネルのフォーマットを示す構成情報を受信するように構成される、
請求項6に記載のUE。

【請求項 1 1】

ワイヤレス通信のためにプロセッサによって実行可能なコンピュータコードを記憶するコンピュータ可読記憶媒体であって、

超高信頼低レイテンシ通信(URLLC)送信によってバンクチャリングがなされた1つまたは複数のリソースを特定する指示チャンネルを、ユーザ機器(UE)において受信することであって、前記1つまたは複数のリソースが、時間領域を分割した1つまたは複数のシンボル期間および周波数領域を分割した1つまたは複数のサブバンドによって定義され、サブバンドの総数が2つである、ことと、

前記UEのアクティブ帯域幅部分(BWP)内のリソースブロックグループ(RBG)の数を決定することと、

あらかじめ定義されたルールに基づいて、前記アクティブBWP内の前記数のRBGを、前記総数が2つのサブバンドの各々の間でマッピングすることであって、前記あらかじめ定義されたルールが、前記周波数領域内の前記2つのサブバンドからの下位のサブバンドへの境界RBGのマッピングを定義し、前記境界RBGが、前記アクティブBWPの中心に位置するRBGであり、前記境界RBGが2つのRBGに隣接し、前記隣接する2つのRBGの各々が前記2つのサブバンドのうちの異なる1つにマッピングされる、ことと、

を行うためのコンピュータ実行可能コードを含む、

コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 1 2】

前記指示チャンネルによって特定される前記1つまたは複数のリソースに基づいて、前記URLLC送信によってバンクチャリングがなされた、前記UEに割り当てられたバンクチャリング実施リソースブロックのセットを決定することと、

前記バンクチャリングに基づいて、少なくとも前記バンクチャリング実施リソースブロックのセットを処理することと、

を行うためのコンピュータ実行可能コードをさらに含む、

請求項11に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 1 3】

前記処理が、前記バンクチャリング実施リソースブロックのセットに対応する対数尤度比(LLR)をゼロにすることを含む、

請求項12に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 1 4】

前記処理が、前記バンクチャリング実施リソースブロックのセットの処理を停止することを含む、

請求項12に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 1 5】

前記指示チャンネルのフォーマットを示す構成情報を受信するためのコンピュータ実行可能コードをさらに含む、

請求項11に記載のコンピュータ可読記憶媒体。